



Leading Edge



Greeting

山の緑が色濃くなり、日中は汗ばむくらいの初夏の陽気が続く季節になりました。JAA 会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。今年の JAA は 24 名の継続・新規会員からスタートしました。今後、普及活動は勿論のこと、ご入会者の募集にも力を入れて、2016 年のイベントも楽しく盛大に開催して参りたいと思います。

今季号から、海外のエアボート情報や安全に操縦するための情報など、エアボートに関するいろんな情報を掲載している「Airboats Tips」を再開します。どうぞお楽しみに。

今回の季節報は、Summer 2016 です。

Contents

1. 会長挨拶
2. 協会の目的
3. JAA Meeting – SPRING
in YAMANAKAKO BASE 報告
4. Airboat Marine Training 実施報告
5. Airboats Tips
6. 今後の予定

1. 会長挨拶

JAA 会員の皆様、こんにちは。
エアボートの製造拠点、山中湖ベースの周りは美しい新緑でいっぱい、鳥のさえずりがとても清々しくて、気持ちのいい季節になりました。「ホー・ホケキョ」と、うぐいすの鳴き声が一日中聞こえています。

この素晴らしい環境下で、弊社製品、第1号が5月中旬に完成致しました。設備や工具が不十分な中でも、工夫しながら立派なエアボートが完成したことは大変感慨深く、今後の自信に繋がっていくように感じています。

この完成したエアボートを囲んで、協会のイベントを開催できました。

これまでは実験艇しかお見せできなかったこともあり、ピカピカのエアボートはとても新鮮に感じて頂けたようで、お褒めの言葉も頂くなど、とても嬉しく楽しい時間になりました。

応援して下さいの皆様のご期待に沿えるよう、これからも頑張ってお参りますので、JAA活動のご協力と発展にご支援賜ります様よろしくお願い申し上げます。

2. 会の目的

Japan Airboat Association は「日本国内におけるエアボートの普及や安全管理」を目的としており、この目的を達成するために以下の5項目を柱に活動して参ります。

- Popularization: 各種イベントの実施
- Safety: 航行マナー講習、整備講習の実施
- Leisure: レジャー用エアボートの提案
- Rescue: 救助用エアボートの提案
- Volunteer: エアボートによる地域貢献、災害時の救助活動の実施

3. JAA Meeting - Spring 2016

in YAMANAKAKO BASE 活動報告

実施日：2016年5月15日（前夜祭14日）

5月15（日）に、(株)フレッシュエアー山中湖ベースをお借りしてJAA Meetingを開催しました。

ちょうど、小型船舶検査機構が実施する検査を通過したばかりの新艇があり、その閲覧会と製造工場見学を兼ねたイベントでした。



前日14日からお手伝い頂ける方を募集していたところ、沢山の会員が来てくださいました。この日、新規入会会員の西田さんは高知県からカツオを持参して参加して下さいました。本場カツオのたたき。薫焼きのパフォーマンスも見ごたえありました。



ネギ、大葉、ニンニクスライス、味つけは「あら塩」。本場の味に皆さん大満足の様子でした。

この日は、防災アナリストの金子さんに「救命索発射銃」のモデル版を使ったデモを行って頂きました。ロープや浮き輪を渡す時などに使われるのだそうです。

狙いを定めて発射した先にロープが飛んでゆき、そのロープに救助用のロープを結びつけて引っ張れば、隊員が水に入らなくともロープを渡すことができます。

元東京消防庁の職員だっただけに、軽快な掛け声でロープを手繰り寄せる様は、なんとも言えない力強さを感じました。



陽が沈む頃になると、佐々木会長の友人がライブを開いてくれるために来社されました。

ライブは山中湖在住のアーティストで、ピアニスト、井上敦夫さん、尺八、渡辺優さんのお二人のセッション。

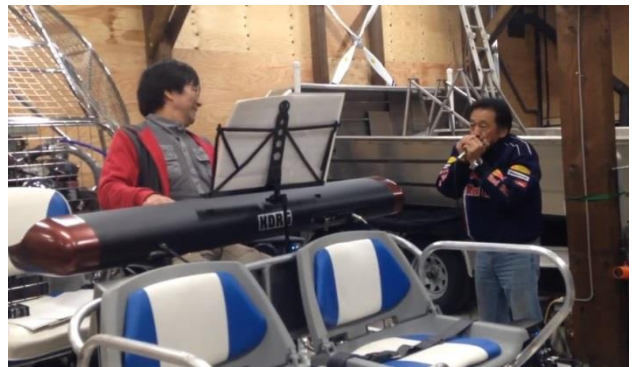
井上さんは、尾崎豊&heart of Xlaxonの初代リーダーとしてご活躍された方で今年還暦を迎えて山中湖を拠点に活動してらっしゃいます。

尺八の渡辺さんは尺八歴50年以上で、リゾートレコーディングスタジオ山中湖ミュージックインのオーナーであり邦楽レーベル、バン

ブーの主催者です。このお二人の演奏が澄み切った夜の世界に響き渡りました。尺八で邦楽や洋楽を奏でると、何とも言えない響きが心に染みます。



POPな曲の演奏が始まると、なんと！会長の佐々木がブルースハープで飛び入り参加！ぶっつけ本番のセッションが始まりました。



みなさん、リズムを刻んだり、踊りだしたり、手拍子したり、深夜までも盛り上がりました。



イベント当日の翌朝は、近くの北富士演習場へ車でドライブに行きました。普段は立ち入ることができない演習場も日曜日は一般開放されており、多くの人が山菜取りなどを楽しんでいます。途中、山中湖が一望できるスポットに立ち、雄大な景色を堪能しました。



ベースに戻ったら、イベント本番です！前夜祭に引き続き日曜日にも美味しい料理が並びました。男性陣の手造りパスタやスイーツが並びました。皆さんとてもお料理上手で、女性からすると、座っていれば美味しい料理が出てくるのですから、ちょっと贅沢な気分になれたかもしれません。



今回の Meeting では、新艇を前にして始動前のエアボート点検のデモを行いました。エアボート製造では、国内唯一のメーカーの社長でもある佐々木会長による、本場アメリカ仕込みの、トレーニングの一部です。

点検前の注意事項や、どの部分をどうチェックしていくか、始動はどのように行うかの説明を行うと、車や一般の船舶との点検の違いもあって、いくつかの質問も飛び出していました。



日曜日にも天気に恵まれ、美味しい料理とゆったりとした時間が流れる中で、リラックスもできたイベントになりました。

富士山を眺め、林に囲まれ、爽やかな空気の中で、都会とは違う雰囲気を楽しみました。

ご参加頂いた皆様、ありがとうございました。



4. Airboat Marine Training 実施報告

実施日：2016年5月13日

利根川でエアボート・トレーニングを実施しました。

受講者は、高知県で「防災寺子屋」を主宰している西田政雄さんです。西田さんは、南海トラフ地震での津波に備えて、防災・減災のために様々な活動をされており、エアボートの必要性を強く訴え導入を働きかけていらっしゃいます。

トレーニング場所となったのは群馬県の利根川。ここはエアボートのリリースに適したスロープがあり、広い浅瀬、中洲などトレーニングに適したエリアもあり、場所としては最適な所です。



エアボートはただ前進するだけなら簡単なのですが、水深が違えば操船感覚が変わり、陸上走行では地上の状態の違いで走行のパワーも違います。それらをこなすには、基本的なエアボートの特徴を理解したうえで、それなりの訓練が必要になってきます。

今回は、始動前点検方法から始まり、エンジンのウォームアップ、ゆっくりのスラローム、少し早いスラロームで、スピードをコントロールしながら方向もコントロールしていくことから始まり、深い水深、浅い水深の操

縦の違い、ターンでは、特にラダーとアクセルのコンビネーションが難しく相当時間の練習が必要です。中洲の走行なども行い、一通りの操縦を受講していただきました。



エアボート・トレーニングは、小型船舶免許2級以上の有効な資格証を有し、1年以上の操縦経験がある人を対象に行っています。

5. Airboats Tips

しばらくお休みしていた Airboats Tips は今季号から再開いたします。

エアボートに関するいろんな情報を掲載していく予定です。

再開初回は、エアボートとホバークラフト

について話しをしたいと思います。

ホバークラフトはイギリスのブリティッシュ・ホバークラフト社の商標で、本来の呼び名はエアクッション艇と言います。一般名称としての使用を同社が認めているため、ホバークラフト（以下ホバー）と呼ばれるのが普通になってきました。

この二つの船舶。似ているようで全く違うビークルです。

まず、船舶の検査をする機関ですが、原則的にエアボートは国の代行機関である小型船舶検査機構（JCI）が検査を行い、ホバーは特殊な船に指定されており、国（国土交通省運輸局）が行います。

どちらもプロペラが作る推進力で前に進むのですが、ホバークラフトは船体がクッションエアーの上に乗ることで摩擦力を軽減しているところが大きく違います。



ホバークラフトは、「スカート」と言われるこの部分に空気を送ってクッションエアーを発生させている。

浮上と推進に大量の空気を圧縮・加速し続けるために、多くのエネルギーを消費し、クッションエアーによって船体を支える為、大型化が難しいとされています。また、クッションエアー一部分は「スカート」と呼ばれ、この部分に大きな破損を受け、クッションエアーが失われる

と浮揚に障害を生じます。

ホバーはエアボートと同様、水陸両用で、他の乗り物では航行や走行が困難な浅瀬や湿地も、スカートの高さ程度までの凹凸なら速度を落とさず、通常の船舶よりはるかに高速で移動できる利点があります。

ではなぜ、ホバーよりエアボートなのか。次号はそこに着目して掲載したいと思います。

6. 今後の予定

7月：23日（土）猪苗代

マリンレジャー

エアボート試乗会と BBQ

12月：(株)フレッシュエアー

新宿戸山ベース

親睦を兼ねた活動